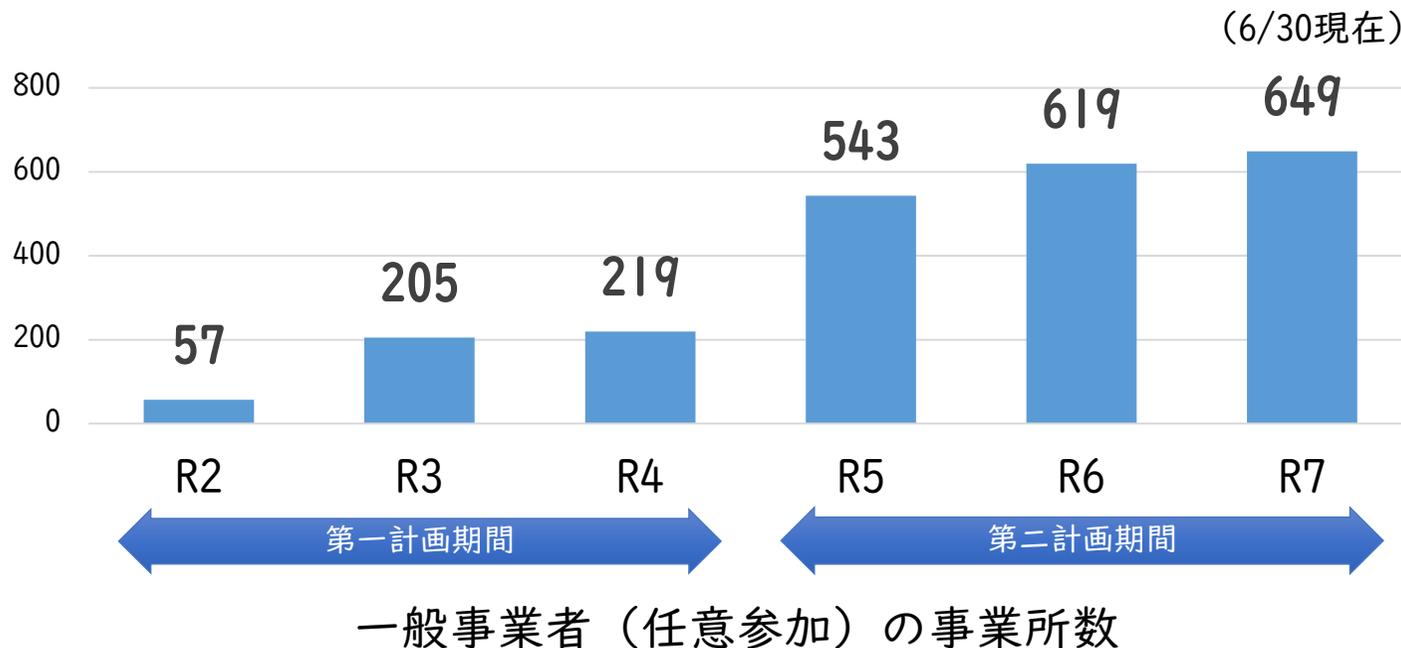


「温室効果ガス削減アクションプログラム」に係る  
参加事業者の拡大に向けた見直しについて

# 趣旨

- 本制度については、商工会議所等と連携した周知広報や補助事業の拡充等により中小企業者の参加促進を図っており、任意参加となる一般事業者の参加者数は年々増加している。
- 令和8年度から始まる第三計画期間を見据え、さらなる参加拡大を図るため、人員等が限られる中小企業者等でも取り組み易いよう、制度参加者に提出を求める「計画書」・「報告書」について、見直しを検討する。



# 計画書等の課題①

## 課題

## 入力項目が多く、難しい内容のものが多い

〈例①：エネルギー使用量の入力〉

燃料	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
揮発油（ガソリン） [リットル]													
灯油 [リットル]									20	30			
軽油 [リットル]													
A重油 [リットル]													
B・C重油 [リットル]													
液化石油ガス（LPG） [kg]													
都市ガス [m <sup>3</sup> ]	425	340	213	106	90	121	168	335	554	571	627	569	4,119

一般的な事業所では使用が少ない燃料種もあり

電気[kWh]		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
東北電力(株)メニューD(残差)	昼間買電	9,305	6,924	8,460	15,911	20,523	17,068	9,657	11,285	16,655	18,569			
	夜間買電													
	昼間買電													
電気事業者からの買電 電気事業者名		昼間買電 (千kWh)	夜間買電 (千kWh)	うち非化石(%) (任意入力)	排出係数 (tCO <sub>2</sub> /千kWh)	昼間買電 (t-CO <sub>2</sub> )								
東北電力(株)メニューD(残差)		171			0.402	69								

契約電力の種類や排出係数を入力する必要

# 計画書等の課題①

## 課題

## 入力項目が多く、難しい内容のものが多い

〈例②：温室効果ガス排出量の算定〉

### 2. エネルギー起源二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 以外の温室効果ガス排出量

排出量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

### 3. クレジット等による削減量

削減量合計	0 t-CO <sub>2</sub>
-------	---------------------

温室効果ガス総排出量	78.7 t-CO <sub>2</sub>
------------	------------------------

### 4. 原単位の指標

排出原単位	0.787 t-CO <sub>2</sub> /t
-------	----------------------------

多くの中小企業者にとって、あまり馴染みがない項目が多い

### 4. 原単位の指標

原単位の指標 (分母)	
名称	年間生産量
単位	t
数値	100

# 計画書等の課題①

## 課題

## 入力項目が多く、難しい内容のものが多い

### 〈例③：取り組み内容（削減対策）〉

#### 3の1 重点的に実施する取組の実施計画（基本対策）

番号	項目	対策内容	実施状況 (基準年度)	実施予定
1	エネルギー管理推進体制の整備	エネルギー管理推進体制が整備されている。エネルギー管理推進体制の中で、エネルギー管理が推進されている。	実施済	
2	エネルギー使用量の把握	主要なエネルギー使用先のエネルギー使用量を、エネルギー種類別に計測している。計測結果が集計され、記録されている。		
3	省エネルギー教育の実施	省エネルギー、地球温暖化防止に関する研修、教育を定期的に実施し、実施記録を残している。	未実施	第1年度
4	空調設定温度の管理	空調設定温度がルール化されている。空調を使用している場所の温度が記録されている。	未実施	第1年度
5	換気設備の適正管理	室内の二酸化炭素濃度を定期的に測定し、許容値を超えない範囲で窓開け換気の回数を減らしている。 全熱交換型換気扇による機械換気が適切に実施されている。		

- 取り組みのハードルが高そうな内容となっている
- 項目数も多い(全56項目)

例①～③を含め、6つのExcelシートにそれぞれ入力する必要

# 課題①に対する見直しの方向性

## 【見直しの方向性】計画書等の内容を簡素化する

(見直しイメージ)

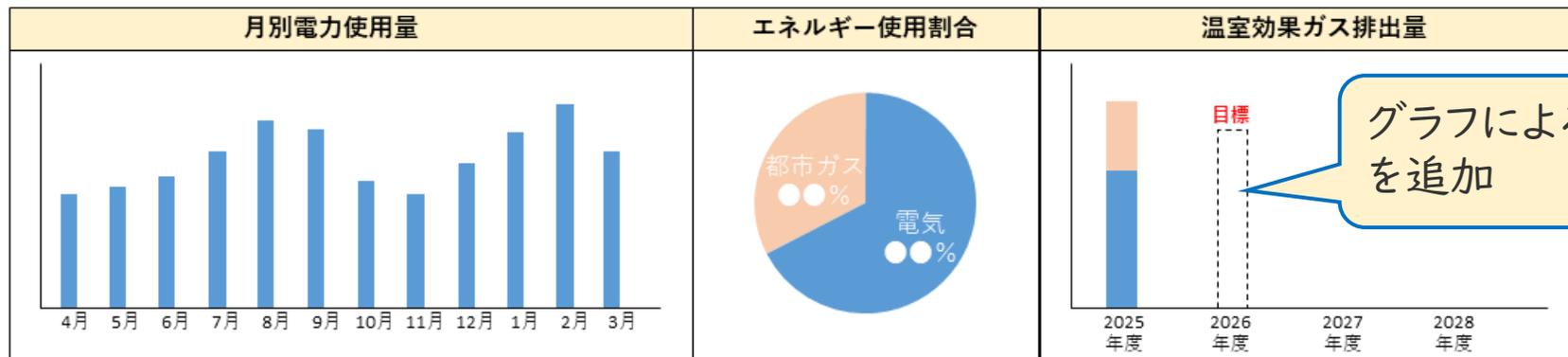
### エネルギー使用実績・削減目標

エネルギー		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	排出係数	排出量
電気	kWh															
都市ガス	m <sup>3</sup>															
プロパンガス	m <sup>3</sup>															
灯油	L														**	
合計																

- 代表的な燃料種に絞る
- 排出係数は固定値とする

エネルギー使用量から排出量を自動計算し、分かりやすく目標を設定

温室効果ガス排出削減目標			
2025年度 実績	***	t-CO2	➡
2026年度 削減目標		%	



グラフによる「見える化」を追加

# 課題①に対する見直しの方向性

## (見直しイメージ)

### 省エネに向けた取り組みの実施計画

◆ 空調設定温度のルール化	<input type="checkbox"/> 既の実施済み	<input checked="" type="checkbox"/> これから実施する
◆ 空調のフィルター清掃	<input checked="" type="checkbox"/> 既の実施済み	<input type="checkbox"/> これから実施する
◆ LED化	<input type="checkbox"/> 既の実施済み	<input checked="" type="checkbox"/> これから実施する
◆ 電気自動車の導入	<input type="checkbox"/> 既の実施済み	<input type="checkbox"/> これから実施する
◆ 	<input checked="" type="checkbox"/> 既の実施済み	<input type="checkbox"/> これから実施する
◆ 	<input type="checkbox"/> 既の実施済み	<input checked="" type="checkbox"/> これから実施する

- 分かりやすい内容へ変更
- 項目数を最小限とする  
(10項目程度)

エネルギー使用量の入力等と合わせ、1つのExcelシートにまとめる(入力1シートのみとする)

# 計画書等の課題②

## 課題

PDCAのサイクル期間が長い

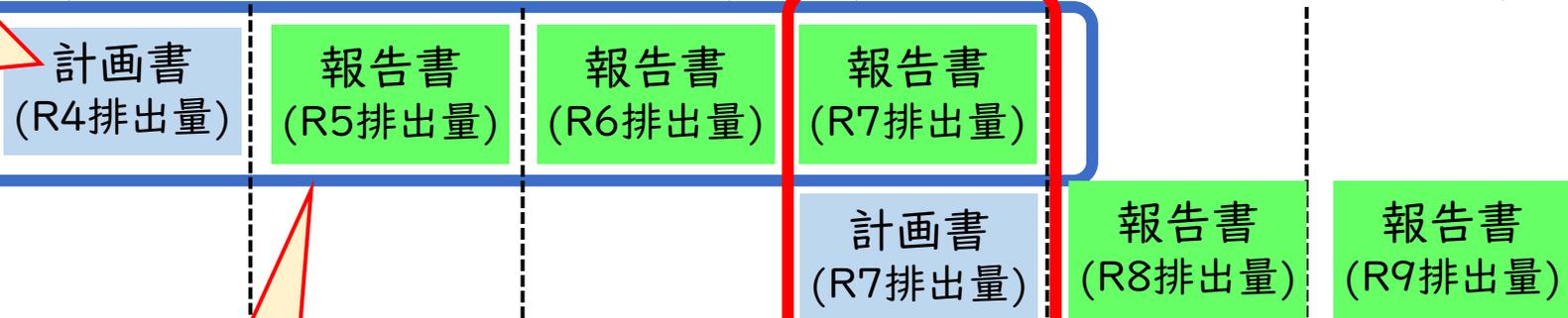
計画書

- ・基準年度（提出の前年度）の排出量
- ・基準年度から3年後の削減目標

報告書

- ・前年度の排出量

3年後の目標設定はハードルが高い



R4年度  
基準年度

R5年度

R6年度

R7年度  
基準年度

R8年度

R9年度

R10年度

PDCAサイクルが  
実質4年間と長い

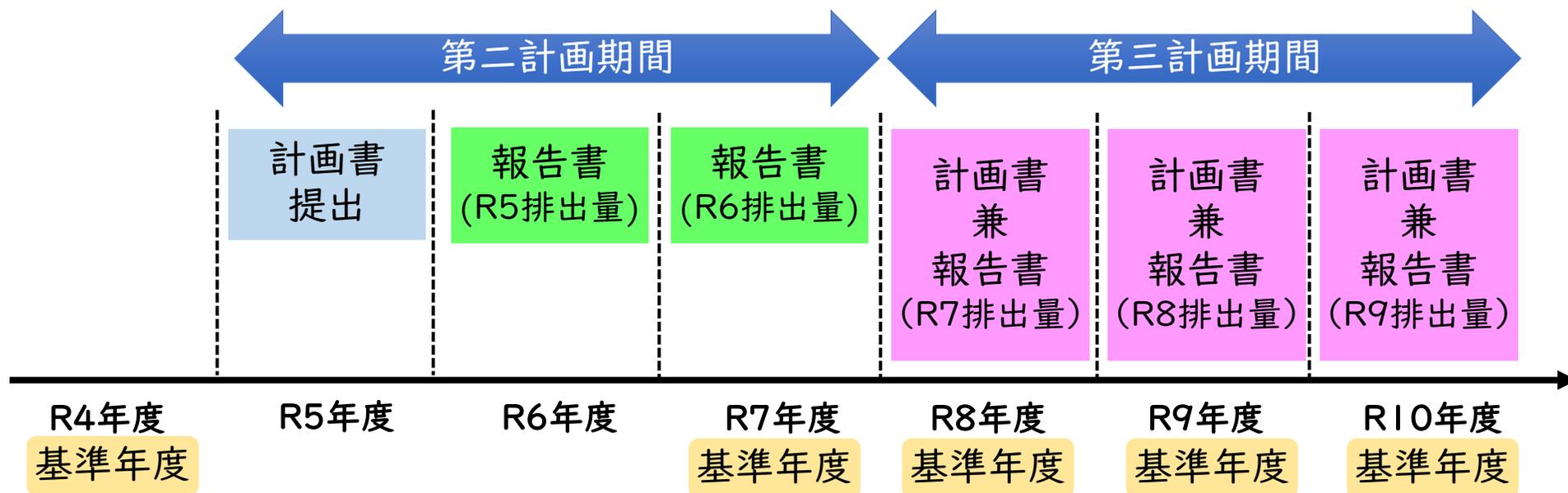
令和8年度（計画期間の切り替わり）に  
・「報告書」と「計画書」の2つを提出する必要  
・内容も重複している部分が多い

# 課題②に対する見直しの方向性

## 【見直しの方向性】1年間のPDCAサイクルとする

計画書  
兼  
報告書

- 計画書と報告書を統合
- 1年後の削減目標を設定し、毎年、目標の達成状況を確認することで、効果的に取り組みを推進



# 今後の予定

年内	計画書等の見直し内容を検討
令和8年1月～3月	関係規定を改正
令和8年4月	第三計画期間開始 (見直し後の制度運用を開始)